

第6号議案

連系線利用計画（年間計画）の更新等について

（案）

1. 連系線利用計画（年間計画）の更新

業務規程第139条に基づき、以下の連系線利用計画を対象に送電可否判定を行い、別紙1のとおり容量登録を行う。この際、平成30年度については、第99回理事会にて議決した長期計画のマージン設定により空容量はゼロとなっており、連系線利用計画の増加分の容量登録はできないことから、減少分のみ反映する。

また、広域機関システムの一部機能が完成していないことに起因して、今回の容量登録の結果、本年10月以降の一部の連系線において、再度混雑処理が必要なコマが残るという事象が発生する。この事象の是正については、システムの準備が整い次第、運用部長の決裁に基づき処理することとする。

（処理対象とする計画）

- ・平成29年3月1日までに提出を受けた、空容量算出用に提出された年間連系線利用計画

＜対象期間＞ 平成29年度及び平成30年度

＜対象件数＞ 845件92社分

（更新日）

- ・平成29年3月10日

2. 平成30年度のマージン設定

平成30年度については、上記1.の容量登録の後、運用容量から計画潮流及びマージンを除いた容量全てを業務規程第2条第2項第8号に規定する電力市場取引の環境整備のためのマージンとして設定する。

3. 公表

年間計画の更新等の結果については、系統情報サービスにて公表する。

公表日 : 平成29年3月15日

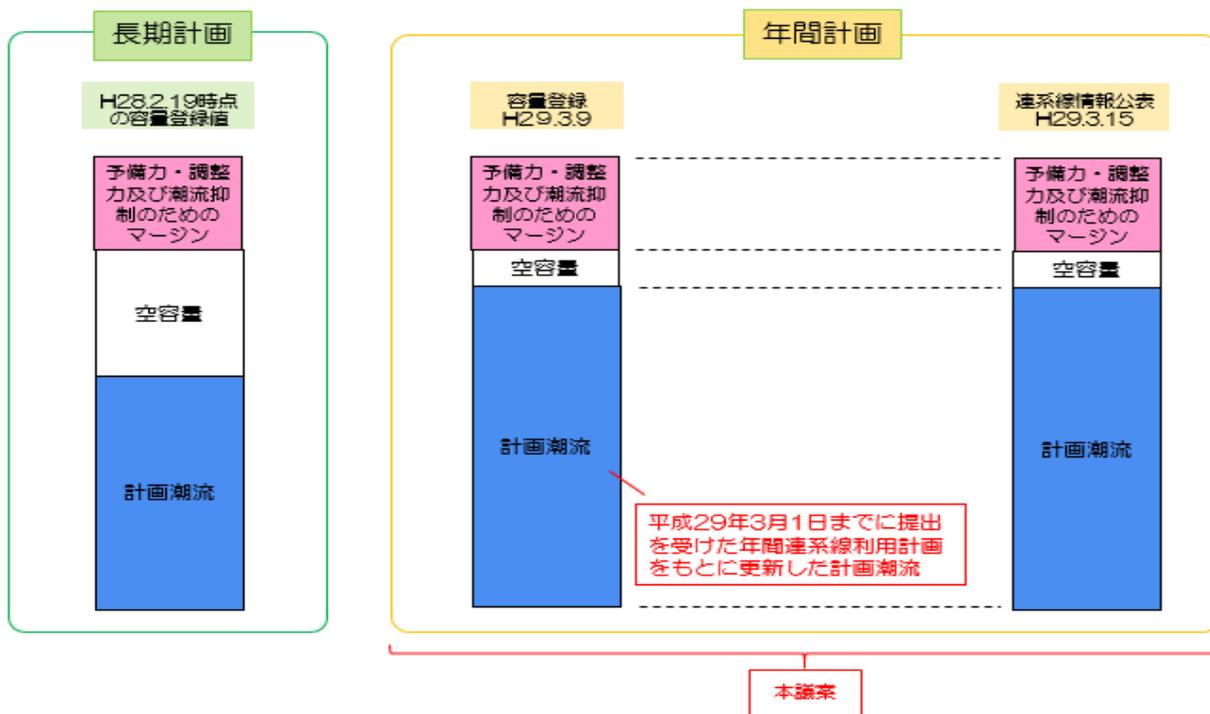
以 上

【添付資料】

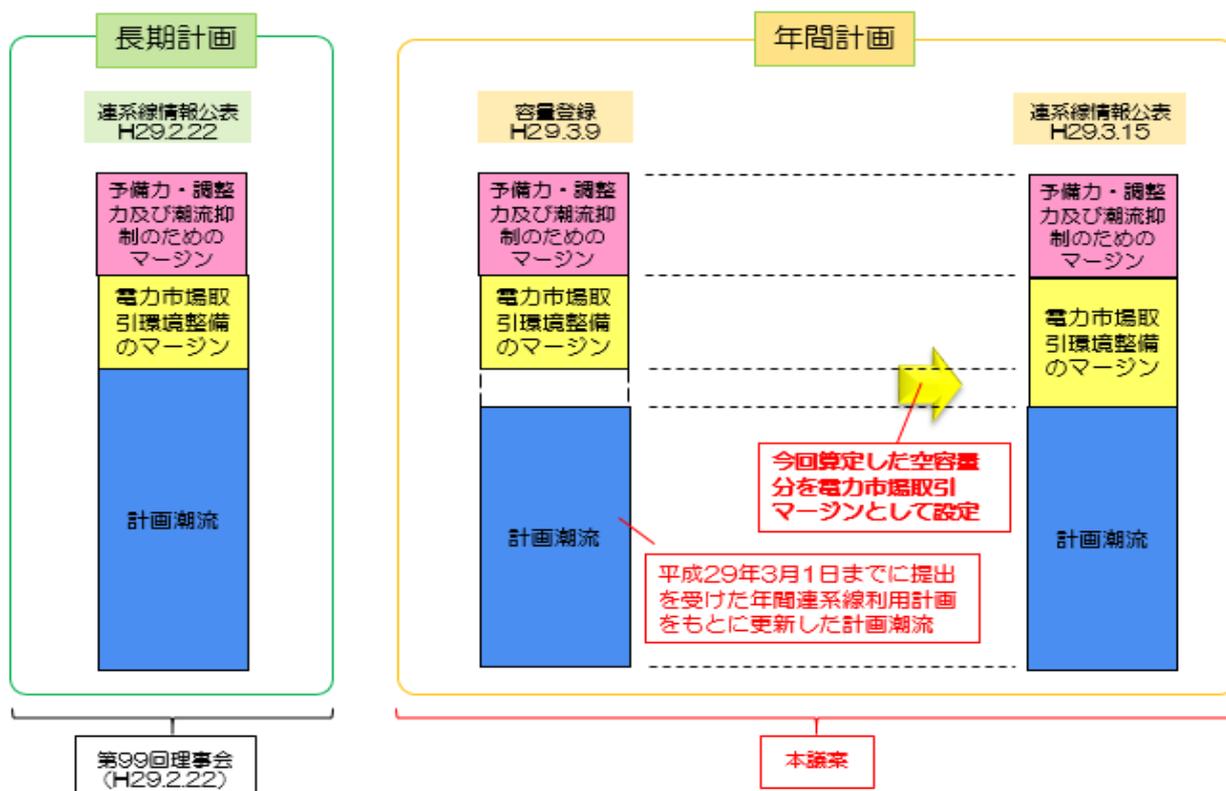
- ・別紙：連系線利用計画（年間計画）

連系線利用計画（年間計画）の更新と電力市場取引マーシンの設定

(1) 平成 29 年度分



(2) 平成 30 年度分



以上